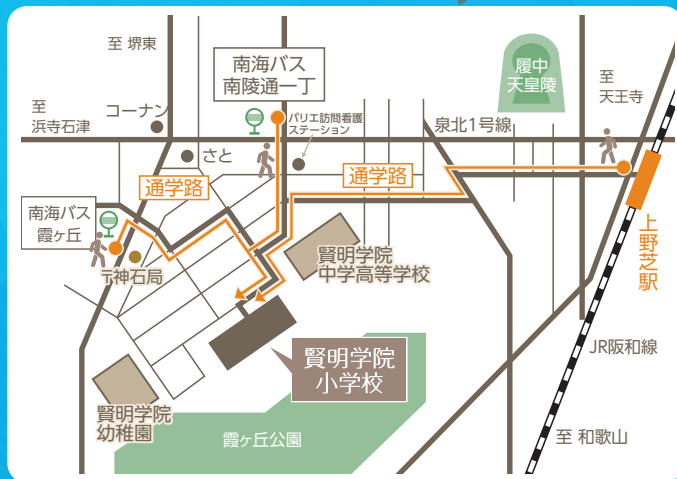
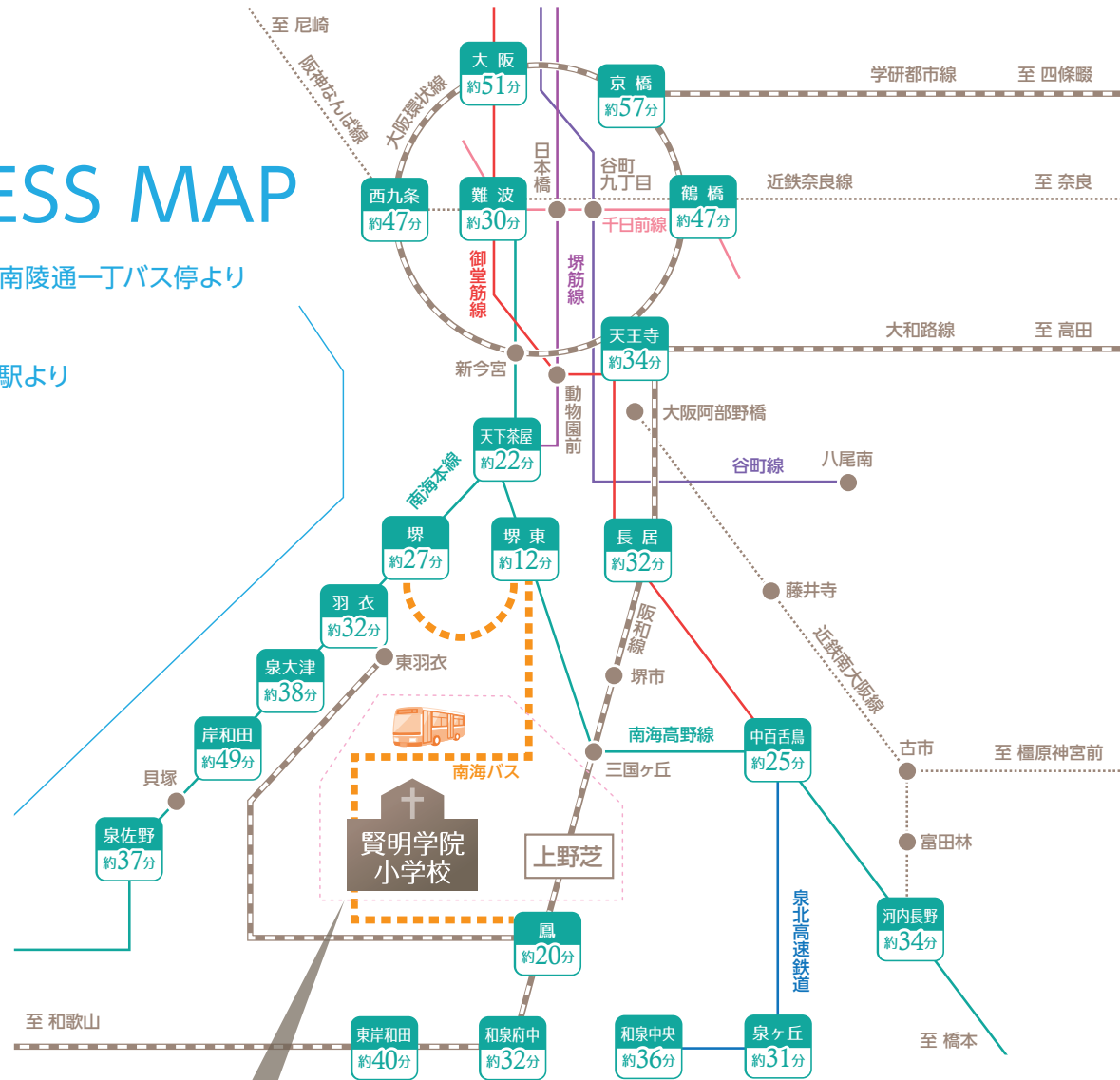


ACCESS MAP

南海バス霞ヶ丘、南陵通一丁バス停より
徒歩約3分

JR阪和線上野芝駅より
徒歩約13分



学校法人 賢明学院 賢明学院小学校

〒590-0812 大阪府堺市堺区霞ヶ丘町4丁3-27

TEL: 072-241-2657

学校説明会やオープンスクール入試情報をチェック

賢明学院小学校

検索

<https://kenmei.jp>



併設校: 賢明学院幼稚園

賢明学院中学高等学校【関西学院大学系属校】

賢明学院高等学校通信制課程



わたしを
みつける

KENMEI GAKUIN
ELEMENTARY SCHOOL
GUIDE 2027

賢明学院小学校

キリスト教カトリック教育

思いを伝える
表現活動

自ら考えて行動する
主体的な活動

興味関心を引き出す
学習活動

わたしらしく
想像・創造する児童



聖マリー・リヴィエにならって
祈り、学び、奉仕しなさい

キリスト教的人間観・世界観と一人ひとりの人格をなによりも尊重した創立者聖マリー・リヴィエの教育精神を継承した本校では、世界の平和と発展に自ら貢献できる人間の育成をめざします。
(賢明学院 校訓、建学の精神より)

ふるかわ
校長 **古川 ルミ**

賢明学院小学校は200年以上前に、フランスで聖母奉献修道会を創設し、イエス・キリストの御心に倣い教育に生涯を捧げた聖マリー・リヴィエの精神を受け継ぐカトリックの学校です。

「神と隣人への燃え立つ愛によって輝く太陽となってください」(創立者 聖マリー・リヴィエ)

これは、創立者が残した愛の言葉です。聖マリー・リヴィエ自身、フランス革命の混乱と迫害の中で神への愛と隣人への愛に燃え、人々の心に希望の光を灯し続けた太陽のような人でした。輝く太陽、それはただ明るく振る舞うのではなく、神への感謝と隣人への思いやりの心をもち、具体的に行動し、人が喜ぶことを行うということです。

本校では、子どもたちが寛容を実践し、自分とは異なる見方を理解し、真の平和の精神で信頼関係を築くことによって自己を表現し、人として成長するための全人教育に取り組んでまいりました。この教育の根底には、本校で学ぶ子どもたちが、永遠の真理に対する神への畏敬の念を養い、心豊かな人格として他者に奉仕する心を育むことを願い求めてきた祈りがあります。学びの一日がこの祈りから始まり、創立以来、この祈りが継承されてまいりました。

めまぐるしく変化していく世の中にあって変わらぬもの、いのちの大切さや人への思いやり、人としての謙虚さ感謝する心を、これからも伝えてまいります。

神から愛されていのちを授かった子どもたちが、光のうちに自らの道をしっかりと歩んでいくことができますように自分と同じように人のことも大切にできる人になりますように、祈る心を育ててまいります。

学校生活の中では自らがよく考え行動すること、授業では互いの意見を尊重しながら自らもしっかりと考え探究していくこと、必要な学力やICTスキルにとどまらず多様性を受け入れ、寛容さや人間らしく生きる調和のある人格の完成をめざし育てます。

これまで賢明学院小学校は、多彩な分野で活躍する卒業生を数多く輩出してまいりました。私の母校でもある賢明学院小学校へ通う子どもたちが、希望の光の先へ歩む後ろ姿を見守りながら、それぞれのチャレンジを応援してまいります。

心を育む賢明教育

本学の土台であるカトリック教育は、一人ひとりの自己や他者を認める力を育みます。これは、ダイバーシティ（多様性）に生きる未来の子どもたちに必要な力です。

祈りの心

賢明学院小学校の一日は、祈りにはじまり、祈りに終わります。祈りは神さまとの対話の時間です。感謝の気持ちを伝えたり悩みを打ち明けたりすることで、心を整理したり、心を落ちつけたりすることができます。こうした日々の祈りを通して、神さまがいつもそばで見守り、愛してくださっていることを感じ取っていきます。心を合わせて静かに祈るひときは、子どもの心の成長を支え、自分自身を見つめなおす大切な時間です。

自他を認める心

「私は神さまから愛されている。」という気づきは、同じように神さまに愛された存在である他者を大切にすることを育みます。私たちは神さまから「わたしらしさ」というお恵みをいただいています。一人ひとり違う存在であることを、互いに認め、支え合うことを通してかけがえのない友人関係を築いていきます。自他を認める心は子どもたちが安心して学び、成長するためには欠かせない力であり多様性の中を歩む未来の子どもたちにとって大切な土台です。

奉仕の心

創立者 聖マリー・リヴィエは「あなたのできるよいことはなんでもしなさい。」とおっしゃいました。この言葉を受け継ぐ私たちは、神さまからいただいた「わたしらしさ」を生活の中で見つけ“わたしのできるよいこと”の実践に取り組みます。この言葉は在校生だけでなく、本校に関わりのある多くの方々に浸透し私たちの精神的な支えとなっています。



読書で育む心と言葉「校内読書感想文コンクール」

賢明学院小学校では、読書を通じて豊かな心を育みます。本から感じたことや考えを整理して文章に表すことで深く読み取る力を養います。さらに、作者の思いに迫り、それを自分の生活に生かすことをめざします。



第70回青少年読書感想文全国コンクール 毎日新聞社賞
受賞者の声 第60期生 山田みつほさん（「秋」 かこさとし／講談社）

かこさとしさんの可愛い絵本とは違い、荒々しくなぐり書きのように描かれた絵に驚きました。絵本なので、登場人物と自分の感情を重ね合わせることができない難しさもありました。でも何度も読むうちに、作者が戦争を心から憎んでいることが絵や文章から伝わってきました。文章が嘆いていると感じました。また作者の「自分の気持ちはあとからでも声に出していい」という思いを知り、自分の気持ちを話すことが得意ではない私には励みになりました。

世界とつながる英語教育

グローバル化が進む社会において、英語は単なる「教科」ではなく、世界中の人々と心を通わせるための「コミュニケーションツール」です。本校の英語教育では、単語や文法を覚えること以上に、まずは「相手に伝えたい」という意欲を育てることを最優先としています。ネイティブ教員との日常的なふれあいや、歌やゲームを取り入れた活動を通して、「英語を使う楽しさ」を体感します。



プレゼンテーション活動

発達段階に応じて、模造紙やタブレットPCを活用します。作成した資料をもとにポスター発表や、プレゼンテーションを行い、相手を意識した発表技能を身につけます。高学年になるとSDS法やPREP法といった、より具体的に伝わりやすい技法について学び、自身の伝える力を高めます。

表現力と発信力を育てるスピーチ

低学年は日常の「ふしぎ」や好きなことを1分程度で伝え、話す順序・聞く態度・自己表現の楽しさを育みます。高学年になると関心のあるテーマやニュースを2分程度のスピーチにまとめ、課題設定・情報整理・理由づけを通して論理的表現力と発信力を高めます。いずれも発表と振り返りで自信と他者理解を深めます。



問い続ける探究学習

好奇心の種を育て、学びの力を育む本校の教育実践は、子どもたちが主体的に問いを立て、情報を整理し、構成して表現し、学びを振り返る一連の力を育てることをめざします。学習の成果は知識だけでなく、思考力・表現力・自己調整力として日々の活動に現れるようデザインしています。

オンライン英会話

授業で十分なInputとOutputを行った後、最終的にはサバイバル的な環境の中で様々な国の先生とオンライン英会話を通じて話す機会を設けています。プラットフォームはDMM英会話を採用しており、120ヶ国から先生を選ぶことができますので、子ども達はレッスンを通じてコミュニケーションだけでなく様々な国の文化や習慣に触れることができます。また、実際に1対1で話すことで通じた時の喜びは自信につながり、学習へのモチベーションになっています。

ICT機器の活用

1年生、2年生は学校のiPad、3年生以上は一人一台のタブレットPC（Windows端末）を使用してしています。タブレットPCはau回線を利用するLTEモデルを選定しているため、校内はもちろん、校外でも幅広い学習ができます。文部科学省の基準に準拠した生成AI「チャットもシンク（コニカミノルタ）」を採択しており、生成AIの扱いについて実践的に学ぶことができます。学習では、これらの環境を生かして自らの考えを発表したり、表現したりします。また、瞬時に自分の考えや思いを共有できる環境は、多様な意見に触れる機会をつくり、子どもたちの違いを認め、共に学んでいく心も育んでいきます。





Skill Up Time

国語・算数の基礎力を高めます。国語では、漢字や文法の学習を中心に行います。算数では、計算練習を集中的に行い、基礎技能の定着を確実にします。

Kenmei Time

Kenmei Timeは学年に応じて「問い立て→調査→まとめ→発表」を行う探究の時間です。低学年は気づきと表現、中学年は問いと情報収集、高学年は課題設定とPowerPointを用いた発表で論理的思考・表現力・メタ認知・主体性を育て、家庭と連携して学びを深めます。

<TOPIC> KENMEI project

培われた学習経験を生かして、与えられた課題や実生活の中から「なぜ」を発見し、課題を解決するために自分らしい方法で学習を進めます。解決することのできた喜びは、次の探究への原動力となります。6年生では、これまでの学びのまとめとして「KENMEI Project」と題し、自分たちで探究するテーマを決めて探究に取り組みます。

Reflection Time

自己対話を通して、何ができて、何ができなかったのか、次はどう改善したらいいのか、どう生かすべきかなどを考え、一日を振り返ります。日常的に振り返りを行うことは、自分自身を客観的に認知する力（メタ認知）を育みます。

Study Up Time

3年生と4年生は、自ら学びたい教科を選択し、その教室へ行って学力向上を図ります。

5年生と6年生は、中学受験を見据えた学習をします。内部進学はもちろん、外部進学を意識して受験に対応した学習をしています。

1年生 時間割例

	月	火	水	木	金
朝	読書・お祈り				
	Skill Up Time				
1	学活	宗教	算数	国語	音楽
2	生活	英語	体育	英語	国語
3	算数	体育	図書	図工	国語
4	国語	算数	国語	図工	算数
昼	昼食 ※給食選択制				
	Kenmei Time				
5	体育	国語		国語	生活
6	音楽	国語			生活

- 7:00 登校(8:10まで)
- 8:10 朝読書
- 8:20 朝の祈り／朝の会
- 8:30 Skill Up Time
- 8:45 午前授業(午前4時間授業)
- 12:05 昼食(給食・お弁当 選択制)
- 12:45 昼休み
- 13:05 Kenmei Time
- 13:25 縦割り掃除
- 13:45 午後授業(午後2時間授業)
- 15:20 Reflection Time・終わりの会
- 15:35 下校、Study Up Time
アフタースクールプラス



松井 陽さん【1年生】

生き物を観察するのが好きで、アフタースクールプラスのサイエンス教室を利用しています。夏休みは「ありの観察」に進んで取り組み、レポートとしてまとめ、コンクールに出品しました。本を読むのも大好きです。夢は「研究者になること」です。

登校、朝休み



朝は、図書館の開館時間に合わせて登校。大好きな本に囲まれて過ごします。



大好きな図書館で読書！



係の仕事もがんばります！



アフタースクールプラス サイエンス教室



水曜日、1年生は給食終了後下校。サイエンス教室を利用し、実験やものづくりなどを通して、物理、化学、生物それぞれの分野を楽しく本格的に学びます。

温度の変化で、水の高さが変わったよ！

サイエンス教室終了後、 TKC(放課後預かり)を利用



上級生の友だちと一緒に、おやつを食べたり、工作をしたりもします。お家の人がお迎えに来るまでに、宿題にも取り組みます。



分らないことは先生が教えてくれるから、安心だよ！



西本 梨乃さん【5年生】

児童会の副会長として、みんながルールを守って楽しく学校生活を送れるよう、いろいろな企画を考えています。バスケットボールクラブや金管バンドなど、特別クラブを通して、たくさんの行事に参加しています。

登校

バスケットボールクラブ朝練



7:30からバスケットボールクラブの朝練があります。少しでも長く練習するために、自主的に早く登校して準備を整えます。



クリスマスの時期に、みんなが楽しめるイベントを企画したよ！

昼休み、Kenmei Time

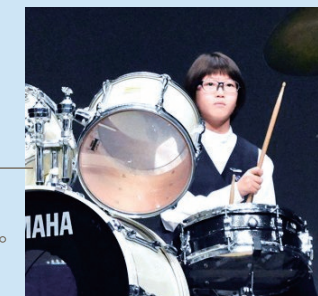


昼休みや毎週水曜日にある委員会活動を利用して、児童会役員で話し合いをすることもあります。クリスマスに向けての取り組みや、全校児童でいっしょに遊べる楽しい企画を考え、運営します。

金管バンド or Study up time



賢明夏まつり、堺まつり、音楽会、地域イベントなどたくさんの発表の場に向けて、一生懸命練習します。2025年度には、関西万博で演奏しました！



金管バンドの練習のない日はStudy Up Timeに参加します。

Q.あなたが賢明学院小学校でがんばっていることは何ですか。



他者も自分も大切に



大塚 海青さん【5年生】

賢明学院小学校は、神様の教えを大事にしている学校です。チャペルでお祈りをすると、心が落ち着いて、神様と心が通じ合うような気持ちになります。私は、リヴィエ・ジュニアの活動をしていて、Natalisでクリスマスのお話を劇で伝えたり、敬老の日に老人ホーム訪問をしたりしています。

自分が小さな学年の頃、転んだ時に、6年生が優しく声をかけて保健室に連れて行ってくれました。私も、助けを求めている人に自分ができる良いことを考えて、実行したいと思っています。

学校では、自分のやりたいことにどんどん挑戦しています。やってみようとチャレンジすることを、先生も友だちもたくさん応援してくれます。音楽会で、全校合唱の伴奏をすることになったので、強弱をつけ、みんなが歌いやすいように弾く練習をしました。これからも、自分のことも友だちのことも大切にしたいです。

「もっと知りたい!」を原動力に



上村 航生さん【3年生】

算数の授業では、みんなで意見を交換をしながら、何通りもの考え方を探していきます。自分では思いつかなかった発想や、先生の分かりやすく楽しい説明を聞くことができるので、いつもワクワクしながら授業を受けています。

放課後のStudy Up Timeでは、授業で習ったことをもっと深く掘り下げて学んでいます。分数の「2分の1」を、タイルや図形で表現する活動では、直線だけでなく、曲線も利用して、何パターンも考えました。先生と話し合っ、それを1冊にまとめて2年生の教材としてプレゼントしました。2年生がとても喜んで取り組んでくれて、ばくも嬉しかったです。

今は、「ミウラ折り」についても学んでいます。これは、人工衛星の太陽電池パネルにも使用されている折り方です。難しいけれど自分の未来の人工衛星を作る時のアイデアが加わった!と思いながら折っています。知識が増えることがとっても楽しいです。授業や先生との会話の中で生まれたアイデアを形にして、算数のコンクールにも挑戦してみたいです。



正富 黎さん【41期生】

The National Moravian Silesian Theater ファースト ソリスト

姉が在籍していたので自然と入学することになった賢明学院小学校で、私にとってかけがえのない学びと成長の時を過ごせました。特に印象に残っているのは、先生方が私たち一人ひとりを尊重し、自由に挑戦させてくれた環境です。自分で考えて動くことを大切にしてくれたおかげで、失敗を恐れずに新しいことへ踏み出す姿勢が自然と身につきました。

授業での知識だけでなく、友達やシスター、先生方との関わりを通して、人の話をしっかり聞く姿勢や、自分の思いを言葉にして伝える大切さも学びました。お祈りをする静かな時間と、休み時間の友達と広いグラウンドを自由に駆け回る時間。いつも守られていて、それでいて開放感あふれる場所で過ごした日々が、今の私の土台になっているような気がします。

その後、高校生のときにベルギーのアントワープへ留学し、バレエ学校卒業後はずっとヨーロッパで暮らしています。現在はチェコでプロのダンサーとして活動しながら、劇場でリハーサルディレクターやアシスタント、そして振付家としても舞台づくり、芸術に関わっています。自分の身体を使って表現し、仲間と一つの作品をつくり上げる毎日は、まさに賢明学院小学校で培った「自由に挑戦する気持ち」と「人と協力する楽しさ」が土台になっています。

小学校で育んだこれらの力は、今もこれからも、私を支えてくれると感じています。



藤木 春佳さん【49期生】

大阪大学大学院 人文学研究科 言語文化学専攻

賢明学院小学校は父親、叔母、従兄弟が通っており、ご縁をいただき私も幼稚園、小学校の9年間を過ごしました。マリアさまに百合を捧げる聖母月のお祈り、奉献会と一体となった楽しい行事など、祈りと感謝する心を養う教育が行事と共にあったと思います。

賢明学院で学ばせていただいた「他者のためにご奉仕をする」という教えは私の行動の支えとなっており、カトリック教育で培われた大きな存在です。おつけものデーやリヴィエジュニアとしての活動から児童として身近に感じたこの教えを、大阪万博で会場ボランティアとして携わるなかでも生かし、沢山の方をご案内いたしました。また賢明学院では自主性やチャレンジする力を沢山育てていただき、本の帯コンクールでは大阪府知事賞をいただいたこともよい思い出です。

現在、大学院では第二言語教育の研究を行っています。小学校から英語に沢山触れさせていただいたことが現在の研究にも繋がっています。今でも当時の先生方が暖かく迎えてくださり、在学していたあの頃のように戻れるのは賢明学院小学校しかありません。卒業して10年以上経っても児童を大切にしてくださる賢明学院がとても大好きです。



自分の思いを「ことば」で表現する。

「読む活動」

授業では、声を合わせて読むことや、よい発声で読むことにも取り組みます。物語文や説明文の学習では、文章中の言葉や表現を手掛かりに丁寧に読み解きます。

「書く活動」

日記や作文、感想文や観察文・俳句など様々な「書くこと」に挑戦します。自分らしい言葉で表現するために、言葉選びや文章校正、推敲方法なども丁寧に学びます。

「話す活動・聞く活動」

友だちの意見を聞き、自分が伝えたいことを正確に話す力を育みます。授業では、ペア学習やグループ学習など、自分の意見を発表する場面をたくさん取り入れることで、友だちの意見を聞き、自分が伝えたいことを正確に話す力がついていきます。また、身近に起きた出来事を話す1分間スピーチや学級会での話し合いなど授業以外でも国語力を鍛える場面を設定します。日頃からお互いの意見を尊重し合う経験をたくさん積むことが、深い学びにつながります。

算数の思考と、科学の力で真理に迫る。

「オープンアプローチ型の学習」

算数の学習では考える力を育てることをとても大切にしています。答えを知って終わりにならないように、できるだけ多様な答えが見出せるよう課題を工夫します。例えば、 $3+2$ の答えを問えば5と答えますが、 $\square+\triangle=5$ と示し、「答えが5になる式はいくつありますか?」と問うことで児童の算数を学び考える力への刺激は随分と変わります。工夫された算数の課題を解決していく中で、「たす数が1増えると…」「答えが4のときは式は3つだったから…」と考える視点を増やし、子どもたちの『学び方』を鍛えます。

「自然事象からテクノロジーまで、実社会とリンクする探究心」

学びの出発点は、常に「実験」と「観察」にあります。自然界の「当たり前」に目を向け、火山の噴火実験のようなダイナミックな実験からLEGO®を活用した電子工学やプログラミングといったテクノロジー領域まで、幅広く「実体験」を通して学びます。単なる知識の習得にとどまらず、実験で得た知見や技術を「社会の中でどう生かしていくか」という視点を持つことで、物事の本質を追究し、未来を創造する力を養います。



各教科の特性に応じた学習方法で 一人ひとりの個性を伸ばします。✧

国語 自分の思いを『ことば』で表現する

自分の思いをことばで表現できる児童を育てることを目標に、読む・書く・話す・聞く・図書の五領域を体系的に学びます。毎朝の読書や発音・発声の学習で読解力を養い、日記・作文・観察文・俳句など多様な書く活動を通して言葉選びや構成、推敲の力を高めます。学級会やスピーチ、ペア・グループ学習で意見を伝え聞く力と協働性を育て、漢字学習や国語辞典の活用で基礎力を定着させます。図書の授業や図書館イベント、読書感想文コンクールや創作作品集「石ころ」などの機会を通じて読書意欲と表現力を伸ばし、自力で調べ考える力を育てます。

社会 これからの未来を"そうぞう"する力

「みらいのクルマってどんな姿だろう」「こんなお米があったらいいな」広く社会に目を開き、子どもたちの「なぜ?」という思いと自由な発想を組み合わせて、未来を"そうぞう"する力を育みます。また、プレゼンテーションやディベートなど、自らの知識や思い、考えを表現し発信する活動も積極的に行い、これからの社会に必要なスキルも身につけます。

英語 最先端のICT×英語教育で未来を見据える

ICTと国際的教材を融合し、話すことへの自信を育てることを柱にしています。間違いを恐れず積極的に表現する姿勢を重視し、Oxford社のe-bookやアプリを用いて段階的に語彙や表現を定着させます。授業は実践的で授業研究を重ね常に改善され、家庭でのOnline Practiceと連携して復習が可能です。TOEFL Primary® TOEFL Primary Jr.®を3年生以上全員が受検し到達度を可視化します。また、本校は英検準会場となっており、希望者は校内で受験することができます(3級～5級)。学校評価では高学年の90%以上が英語に興味を持ち簡単な会話を覚えていると回答しており、自信が学習意欲と成果につながる教育を実践します。

宗教 祈りを大切にし、自分も人も大切に

祈りや聖書のみ言葉に耳を傾け、イエス・キリストの教えにもとづいた「自己の生き方」を考えます。

生活 自らの生活をよりよく豊かにする

身近な人々や自然との関わり、五感を使った経験を通して、自らの課題を見つけ、考えを深めていきます。ICTも活用し、学び合いの方法を広げていきます。

音楽 音の楽しみ方は自由自在

児童一人ひとりが、それぞれの気付きを共有することによって、音を奏でることへの新たな発見や喜びを持つことに繋がる学習を行います。

体育 自発的な身体づくりを目指して

運動やスポーツを通して基礎体力・運動技能・ルール理解や安全意識を育てます。学年ごとの集団演技や段階的な水泳指導で技術・協働性・挑戦する力を高め、計画的な運動習慣を定着させます。

算数 自分の考えをもって学び続ける

答えを出すだけで終わらず、考え方を深めることを重視します。多様な解法が生まれる課題設定やオープンアプローチで、児童が自分の考えを見つけ説明する力を育てます。低学年は基礎を大切にしつつ適度な挑戦で「算数が楽しい」を実感させ、高学年は図や式、言葉で解法を論理的に示し友だちの意見を取り入れて考えを洗練させます。さらにExcelや数学ソフトを活用し、データ分析や立体図形の直感的操作を通して理解を深め、主体的に学び続ける姿勢と問題解決力を養います。授業では観察・推論・表現を繰り返し、失敗を学びに変える指導を行い、思考の過程を重視して個々の成長を支援します。

理科 日々の実験や観察から生きる力を育む

子どもたちの周りには、自然から生まれるたくさんの事物があります。その一つひとつの「当たり前」に目を向けて、さらに追究しようとする姿勢を身につけることで、何事にも物事の本質まで追究する力を養います。火山の噴火の再現実験のような難しい実験も子どもたちが主体となって実験することで、友だちとのコミュニケーションを図りながら、非日常的な現象にも目を向け探究していきます。



道徳 自分が好き、人が好き

自分のよいところ、友だちのよいところを進んで見つけ、「自分が好き、人も好き」と言える児童を育てます。

図工 「思い」の表し方によりそう

それぞれの「表したいこと」を言葉にしなが、方法や素材を工夫して自分のイメージに近づけるという過程を大切にしています。季節や行事を題材に取り入れることで、子どもたちは作品のアイデアを意欲的に形に表しています。コンクールや全国教育美術展への出品も積極的に行っています。

家庭 できるようになる自分へ

支えてくれる人への感謝と自立心を育みます。話し合いながら実践的に活動し、手順や時間配分を自分で考えて計画することでプログラミング的思考も養います。他教科とも連携し、表現活動を通じて生活に根ざした学びへとつなげます。

総合 体験したことから「知りたい」を見つける

様々な体験活動を通して、自分の知りたいことや調べたいことを見つけます。調べたことをまとめる方法は、相手を意識して自分たちで考えます。大きなテーマの中で自分の「知りたい」を深く掘り下げていきます。



■ 図書館 二万冊を超える蔵書数を有し、優しい光の差し込む子どもたちの憩いと学びの場です。



■ リヴィエホール・人工芝グラウンド



■ コンビネーション遊具



■ チャペル



■ i-Laboratory



■ 賢明農園

(2025年度実施を一部抜粋)

- ・入学式
- ・新入生を迎える祈り
- ・新入生歓迎会
- ・イースターエッグを探せ！
(児童主催イベント)
- ・全校遠足

・聖母月

- ・体育大会(おおきにアリーナ舞洲)
- ・田植え体験
- ・水泳(イトマンスイミングスクール)

- ・夏野菜収穫
- ・宗教錬成会(リヴィエJr.)
- ・賢明夏まつり

・NHK全国学校音楽コンクール
(合唱部)

- ・校内読書感想文コンクール
- ・修学旅行(長崎方面)



- ・ロザリオの祈りの集い
- ・ロザリオづくり(児童主催イベント)
- ・宿泊研修(1~5年生)
- ・堺まつり(金管バンド)

- ・稲刈り体験
- ・創立記念日・記念ミサ
- ・秋まつり
- ・アドベント(待降節)

- ・音楽会(フェニーチェ堺)
- ・冬野菜収穫
- ・クリスマス聖劇Natalis

- ・本の福袋貸し出し
- ・TOEFL Week

- ・創立者帰天日
- ・十歳の集い
- ・芸術鑑賞会
- ・校内図工作品展
- ・東京宿泊研修(6年生)

- ・6年生を送る祈り
- ・6年生を送る会
- ・KENMEI Project発表
- ・感謝の集い(6年生)
- ・卒業式・卒業感謝ミサ
- ・修了式



学校生活

ブルーは未来へ向かう心、グレーは協調性、白は慈愛をあらわす 賢明学院小学校の制服

理念である「最上をめざして最善の努力を」「豊かな心、強い意志」を表現しながら
風格と品位を兼ね備えたデザインです。



様々な通学手段が選べます

バス通学

最寄駅:南海バス霞ヶ丘バス停
南陵通一丁バス停

電車通学

最寄駅:JR上野芝駅

自家用車で送迎

保護者が送迎しやすいように、
府道30号線沿いに送迎専用ロータリーを設置

ロータリーでは、警備員が子どもの乗り降りを補助するので、安全です。



昼食は学校給食・お弁当のどちらかを選択できます

本校の学校給食は、栄養面や衛生面はもちろん、
子どもたちが食事に興味を持てるように日々工夫された給食です。



特別活動

本校では、子どもたちのやりたい気持ちに合わせて、奉仕活動や、運動活動、音楽活動など様々な特別活動を行っています。子どもたちの個性や興味を生かしながら、主体的に学び、仲間と協力する力を育てています。



リヴィエ・ジュニア

本校の創立者 聖マリー・リヴィエから名前を頂いた「リヴィエ・ジュニア」の活動は、校訓「祈り・学び・奉仕する」を率先して行う児童の育成を目的に1982年に発足しました。リヴィエ・ジュニアの児童は、イエスに倣い、創立者に倣い、日々の学校生活の中で、自ら心を磨き、他児童の模範的な存在になるよう、月に一度の勉強会や、錬成会、老人ホームでの交流を通して実践を積んでいます。



バスケットボール

日々の練習を通して、バスケットボール技術の向上をめざすとともに、規律ある行動を身につけることを目指して活動しています。3～6年生の希望者が、年間3回の大会や練習試合で結果が出るよう、朝練習や放課後練習にも熱心に取り組んでいます。

金管バンド

金管楽器のハーモニーを楽しみながら、全員で心一つにして演奏することを大切に活動しています。2～6年生の希望者が放課後に集まり練習しています。堺まつり、阪堺グルメフェスなど、地域イベントにも積極的に出演しています。

合唱

美しい歌声をめざして活動しています。お互いに助け合い、励まし合いながら、2～6年生の希望者が朝と放課後に集まり、練習しています。NHK全国学校音楽コンクールや堺市合唱連盟主催行事などに出演しています。

アフタースクールプラス After School Plus



放課後預かり

トレジャーキッズクラブ(TKC)

芸術系

学研・城戸真亜子アートスクール
バレエレッスン
泰山書道会(毛筆・硬筆)

学習系

完全1対1の個別指導プロ教師の名門会
[賢明学院中学校 内部進学特化プログラム]
学研After賢明学院

理数系

ヒューマンアカデミーロボット教室
ハチハチ サイエンススクール

スポーツ系

リヴィエ・サッカースクール
ストリートダンス
エルステップス・スポーツクラブ
少林寺拳法

※詳細は、別紙[賢明学院小学校 アフタースクールプラス案内]を御覧ください。

各種コンクール受賞実績【過去3年】

児童たちはさまざまなコンクールに挑戦し、日頃の学びの成果を発揮しています。

【読書感想文コンクール】

- 🌸 全国青少年読書感想文コンクール
第69回(2023年度) 入選
第70回(2024年度) 高学年の部 毎日新聞社賞
第71回(2025年度) 中学年の部 サントリー奨励賞
- 🌸 大阪府青少年読書感想文コンクール
第69回(2023年度) 特選1名・優秀2名・佳作1名
第70回(2024年度) 特選1名・入選2名
第71回(2025年度) 特選1名・優秀1名



【読書感想画コンクール】

- 🌸 大阪府私立小学校連合会読書感想画コンクール
2023年度 奨励賞3名・入選2名
2024年度 奨励賞3名・入選2名
2025年度 奨励賞5名
- 🌸 大阪府青少年読書感画コンクール
第42回(2024年度) 優良賞1名・佳作2名
第43回(2025年度) 優秀賞2名・優良賞1名

【全国硬筆作品展覧会】

- 🌸 全国優勝(学校賞)・大阪府知事賞・文化芸術賞・大阪府教育委員会賞他

【大阪こども「本の帯創作コンクール」】

- 🌸 堺市長賞・アリス館賞・徳間書店賞・金の星社賞

【伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞】

- 🌸 佳作特別賞 / 佳作

【心の輪を広げる体験作文】

- 🌸 堺市小学生部門 最優秀賞

【「社会を明るくする運動」作文コンテスト】

- 🌸 堺市教育長賞／大阪府コンクール佳作

【堺っ子書道展】

- 🌸 2023年度 堺市長賞
- 🌸 2024年度 堺市長賞

【「ゆめのまちってこんなまち」絵画コンクール】

- 🌸 毎日新聞社賞 / ゆめまちデザインシルバー賞

【第24回 「城の自由研究コンテスト」】

- 🌸 小学生 個人の部 優秀賞

他 多数のコンクールに応募し、受賞しています。





ひとりの子どもの魂を育むことは
一つの世界を治めることに匹敵します。
神の目、信仰の目で見れば、
ひとりの魂はこの宇宙より重い存在です。

創立者 聖マリー・リヴィエ
(1796年 賢明学院の母体となる聖母奉献修道会を設立)
■1768年12月19日、フランスのモンプザで誕生。
■1796年11月21日、「聖母奉献修道会」を設立。
1838年2月3日、69歳で帰天。
■1982年教皇ヨハネ・パウロ2世により福者に列せられる。
■2022年教皇フランシスコにより聖人に承認される。

18世紀末、フランス革命さなかの社会が荒廃していた時代。当時28歳だったマリー・リヴィエは、子どもたちの教育が放置されている状況に心を痛め、信念と熱意に燃え4名の同志とともに青少年のキリスト教的教育を第一の使命とする教育修道会を、南フランス・ヴィヴァレ地方のチュエイの山間の村で創立しました。それこそ賢明学院の母体である「聖母奉献修道会」です。聖母奉献修道会の創立後、マリー・リヴィエはフランス国内に141の学校を創設。「私の娘たちはいつか海を渡るでしょう。」と後を託したマリーの意思を受け、没後110年を経た1948年6月、カナダのセンチヤセントを出発したシスターたちが日本の地を踏むことになりました。



理事長 高畠 政行 神父

マリー・リヴィエはフランス革命のさなか1796年に「聖母奉献修道会」を創設しました。革命によって社会が荒廃し、教育を受ける機会を奪われた多くの子どもたちの状況に心を痛め、未来を担う子どもたちのために教育修道会を創設したのです。「一人の子どもを魂を育むことは、一つの世界を治めることに匹敵します。神の目、心の目で見れば、一人の子どもは魂はこの宇宙よりも重い存在です。」というマリー・リヴィエの言葉から子どもたちへの愛や教育への熱意が読み取れます。そしてその愛の炎は、フランスだけに留まらず世界中に飛び火して行ったのです。1948年、当時の大阪教区長 田口芳五郎司教の招聘に応えた聖母奉献会のシスターたちが大阪の地に派遣され、1954年に堺市での教育活動が始められました。賢明学院はマリー・リヴィエの精神を受け継ぎながら、子どもたちとともに未来を拓いて行くのです。

あなたがたは地の塩、世の光である。
あなたがたの光を人びとの前に輝かしなさい。
(マタイ5章13・14・16節)

現在、私たちは比較の世界・競争の世界・優劣をつける世界に生きています。人と自分を比べることによって劣等感に苛まれたり、優越感に浸ったりするのです。残念なことです。上記の聖書の言葉は、イエスが当時の人びとに語りかけた言葉です。努力することによって地の塩、世の光となりなさいと言っているのではありません。もうすでに、あなたたちは無条件に大切な地の塩であり、かけがえのない世の光なのだと言うのです。皆さんもこの言葉を私たちへのエールとして受け止め、自己を肯定して他者を尊び、勇気と謙遜を身に纏いともに賢明の道を歩んで行きましょう。

卒業生の進学状況

内部推薦による併設校への進学率 42%【2025年度】

外部受験の主な合格実績

【共学校】 清風南海中学校 西大和学園中学校 帝塚山学院泉ヶ丘中学校 開明中学校 同志社香里中学校 関西大学第一中学校 近畿大学附属中学校 清教学園中学校 桃山学院中学校 同志社国際中学校	帝塚山中学校 智辯学園和歌山中学校 開智中学校 高槻中学校	【国立・公立一貫校】 大阪府立富田林中学校 大阪府立水都国際中学校 大坂府立咲くやこの花中学校	【女子校】 神戸女学院中学校 四天王寺中学校 大阪女学院中学校 大谷中学校 帝塚山学院中学校 松蔭中学校	【男子校】 大阪星光学院中学校 清風中学校 明星中学校 灘中学校 六甲学院中学校 東大寺学園中学校	【関西以外】 愛光中学校 北嶺中学校
--	--	--	--	---	--------------------------

■ 賢明学院 沿革

1796年	アンヌ、マリー、リヴィエ聖母奉献修道会を設立	1982年	第2代理事長にシスター・崎間妙就任
1948年	聖母奉献修道会日本本部を設立	1984年	第3代理事長にシスター・松田郁子就任
1951年	賢明学院の前身である アベノ・カトリック幼稚園設置の認可	2006年	学院創立50周年記念式典を挙行
1954年	学校法人賢明学院に組織変更の認可 初代理事長にシスター ティオデュール就任 霞ヶ丘カトリック幼稚園設置の認可	2007年	第4代理事長にシスター・中西美繪就任 学院リヴィエ・ホールを竣工
1959年	賢明学院小学校設置の認可	2014年	学院創立60周年記念式典を挙行
1966年	賢明学院中学校設立	2019年	高等学校 関西学院大学系属校となる協定を締結 学院創立65周年
1969年	賢明学院高等学校設立	2020年	第5代理事長に高畠政行神父就任
1973年	聖母奉献修道会日本地区創立25周年	2022年	創立者マリー・リヴィエ、 教皇フランシスコにより列聖される
1979年	学校法人賢明学院創立25周年記念式典を挙行	2024年	学院創立70周年
1982年	創立者マリー・リヴィエ、 教皇ヨハネ・パウロII世より列福される		